

# おも 家庭教育への想い



西三河事務所長

若松 文男 氏

## 教育随想

「団塊の世代」である私は、戦後の「物」の乏しい時代に幼児期から小中学生の時期を過ごした。遊びといえば、かくれんぼ、缶けり、馬跳びなど、お金の要らない体を使ったものばかりであり、少し社会が豊かになりかけた昭和三十年代になっても、親におもちゃなどをねだった記憶もない。そのころは常に質素な生活を続けざるを得ない社会環境や家庭環境があり、そのことが子供ながら分かっていったからだ。しかし、このことは反面、欲しいものを買ってもらえない家庭環境の辛さを子供心のどこかに残してしまっただろうと思う。

自分が親となつてから早三十年近い日々が過ぎ去ったが、子供が生まれた昭和五十年代は経済成長も著しく、豊かな社会となっていた。そんな時代背景から、自分の子供のころの辛い想いを自分の子供にはさせたくないとの思いもあり、金銭的にはその時々気分次第で子供に接し、親として一貫した教育哲学をもてなかつたように思う。社会全体が発展途上の時代では「貧乏」が立派な教育哲学になつていたが、物質的に豊かで自由な時代には、親の一人一人が自らの教育哲学を持ち実践しなければならぬ。しかし、自由であるが故に親の教育に対する考え方もばらばらで、最低限の社会的ルールも守れない子供が増えていくといわれる。また、そういう子供たちを育てたのは、今の親である我々の世代の責任であるとの意見もある。



(わかまつ ふみお)



平成19年7月1日

# 7月号

発行・編集  
岡崎市教育委員会

### 今月の紙面

教育随想	1
西三河事務所長 若松 文男氏	
この人に聞く	2
岡崎警友会事務局長 元スクールガードリーダー 矢部 竹雄氏	
羅針盤	2
特別支援教育指導員 岡田 幸夫	
ふれあい	3
恵田 小 鳥居 光世 安城・安祥中 櫻井 章二	
特集	4
岡崎の教師上を向け、元気を出せ！ 江村力教育長を訪ねて	
お知らせ	6
フォト・ヒストリー	8
こども議会 (昭和24年)	
この本を	8

ふるさとシリーズ

# この人に聞く



## 地域ぐるみでの学校安全

岡崎警友会事務局長  
元スクールガードリーダー

矢部 竹雄氏

「退職後、警察での経験を生かして働いていましたが、ちょうど区切りをつけて仕事をやめた年にスクールガードリーダー制度ができました。県から依頼があつて、『相手が学校なら放っておけないからやります』と引き受けたのが始まりです」と、にこやかに話をしてくださった。矢部さんは、蒲郡警察署長、県警本部国体対策課長、公安三課長、東海警察署長などを歴任された、いわば安全対策のプロフェッショナルである。平成十七年七月から岡崎中地区のスクールガードリーダーとして活躍

された。

「最初は、何をやっていいのか私も担当の先生もよく分からなくて、困った時期もありました。そのうちやるべきことがわかってくると、『学校周辺の環境を整えること、学校自体の危機管理意識の向上を進めること』が、大事な仕事だと考えるようになりまして」と、当時を懐かしそうに振り返られた。そして、スクールガードリーダーが取り組む危機事案の四点を示された。

- 学校施設、設備、備品、管理権の及ぶものの危険箇所
- 校内へ侵入しての各種事件の発生
- 通学路における連れ去り等重要事件
- 通学路における集団登校列への交通事故

矢部さんが実際に取り組んだことは、「見守り隊」の創設、通学路の安全点検・改良、子供たちとの学区内の安全点検、入校証の普及など多岐にわたる。

「やるというのではないかな、と思うことをやってきただけです」と謙遜されるが、地域に貢献しようという情熱がひしひしと伝わってくる。本年度は、中地区を除く全市に、新たなスクールガードリーダー五名が配置されたが、警察のOB会である「岡崎警友会」事務局長として、この人選にも尽力された。



「機会があればみなさんに自分の経験を伝承して、子供たちが安全に学校に行ける世の中にしていきたいです。いつでも、連絡をいただければ行きますよ。スクールガードリーダーの仕事は先生方にも理解してもらって、相談してもらえたらうれしいですね。」

矢部さんの安全対策にかける意欲はますます盛んである。かつて、保護者が入校証をつけて学校へ来ることがなかなか普及しないとき、「入校証をつけてきても何にも出ませんけれど、子供たちの笑顔とあいさつには出会えますよ」と言って説得されたそう。

学校や地域みんなを、やる気させる矢部さんの熱意は、岡崎市全体に広がりつつある。

氏名 やべ たけお  
生年月日 昭和十四年一月八日  
住所 緑丘三丁目九番地一



## 子供に寄り添う授業

特別活動指導員 岡田 幸夫

子供たちにとってよい授業とは、どんな授業なのだろうか。

A 小学校の特別支援学級での「立体」の授業。在籍児童は、六年生の自閉症B男。表現することや文章の意味を理解することは苦手であるが、指示は理解できる。算数は大好きで、独特な方法であるが、整数の四則計算ができる。また、平面図形の作図に優れている。学習内容は、角すいや円すいの展開図をかくて組み立てる少し難しい内容である。準備は、円柱や角柱、角すいや円すいの立体模型と画用紙で、特別な物はない。

「(三角柱を見せ) この立体は「三角柱」「そうだね」「(底面を指し) この形は」「三角」「いいねえ」「いくつある」「二つ」「よく分かるね」「四角すいの底面はいくつ」「一つ」「どんな形」「正方形」「何センチ

### 響き合う心

恵田小 鳥居 光世

高校生になった六人の子供たちが、訪ねて来た。このクラスで一番印象に残っているのは、学芸会である。目標を持って努力する大切さを感じさせるために、夢をかなえた大人の自分を演じる劇を選んだ。

気心知れた六人。息の合う楽しさを皆感じていたが、しばらくして気の緩みが出た。大道具の準備を忘れる、間が伸びる、注意し合うこともなかった。「皆で最高と言える劇にしてほしい。これのできるの」と迫るわたしに、子供たちは無言だった。

ところが、次の日、子供たちの顔は、自信に溢れていた。「昨日学校から帰って、Aちゃんの家を集まって練習したんだよ」という言葉に、びっくりした。そして、胸がいつぱいになっ



た。「先生は、もう何も言うことはないよ。大丈夫だね」と言葉を返した。練習では、今まで以上に高め合う姿が見えるようになった。

学芸会当日。「心を一つに劇を完成させます。今日は、絶対に失敗しません」と書かれた六人からの寄せ書きをもらった。終幕、胸を張る六人の姿に、こらえていた涙は溢れた。あれから三年。それぞれの道へと歩き始めた。「記念写真を撮るね」の言葉に照れくさそうに並んだ姿は、少し大人びて見えた。カメラに子供たちを収めながら、「よし、わたしも頑張ろう」と心でつぶやいた。



### 生徒を信じて

安城市立安祥中 櫻井 章二

本校では、文化祭を「安祥フェスタ」と呼び、総合的な学習の時間に学習したことを学級ごとに発表した。生徒はかりでなく、教師たちの思い入れも強い。

四月、友情をテーマに映画を作ることに決定した。

しかし、なかなか具体的な活動が



始まらない。「やる気あるのか」と、口癖のように叱咤が続いた。早く企画を進めたい私と、納得してから撮影を進めたい生徒たちが対立してしまつたのだ。そこで、行事は生徒のためのもつと自分に言い聞かせ、しばらく任せてみることにした。授業後に残った学級三役の相談相手になったり、映画のBGMを一緒に選定したりした。生徒が行き詰まった場面で、私の出番であった。

夏休みを迎えようかというころ、シナリオが完成した。「ストーリーリーの一こまを見てもらおう」という撮影チームのリーダーから提案があり、撮影した映像を学級に紹介することにした。たった数秒のことであったが、歓声があり、その後の活動は一気に加速した。

完成した映画には、全員が出演している。観客から大きな拍手をいただいた生徒たちは誇らしげであった。

チ」「十センチ」「側面の形は」「三角形」「ここここが同じ三角形は」「二等辺三角形」「よく覚えているね」

B男は、発問の一つ一つの確に答える。その後、コンパスや定規を使い、展開図をかき、切り取って四角すいと円すいを作る。「分度器の向きが違うね」「0を合わせるよ」先生の指示をよく聞き、丁寧に作業を行う。その間、時間がかかったり、能率の悪い切り方をしていたりしても、C先生は、見守っている。B男は、自分で二つを見事に完成させる。

C先生がB男の特性をよくつかんでいるからこそできる、細かな配慮が、本授業には数多くあった。

立体と形の用語の使い分けや丁寧な確認など、言葉による理解への気配り

- ・ すぐに褒める
  - ・ 得意なことは本人に任せる
  - ・ 独特の切り方を認める など
- これらにより、B男は、安心して取り組み、十分な活動ができた。

授業の最後、「まだ作ってない形(三角すい)があるけど、作りたいかな」「作る」と答えるB男。短い言葉の中に、この授業の満足感とC先生への信頼感が感じられた。

B男にとってよい授業だった。



江村 力 教育長 を 訪ねて

## 特集

# 岡崎の教師

# 上を向け、元気を出せ！

昨年十二月に教育基本法が改正されました。この改正を受けて教育改革が具体的に進んできています。この大きな変革の中でわたしたちは何を大切にしていけばよいのでしょうか。江村力教育長に聞いてみました。

**教育改革の中で、これからの学校教育はどうあるべきでしょうか**

大きな教育改革の流れの中で、企業理論が導入され、いろいろな面で数値化された達成目標が示されてきています。現状を分析するための参考として心にとめるのはよいと思いますが、これだけを追いかけると、子供たちがゆがんでいきます。目の前の子供たちをしっかりと見て、数値に振り回されず、バランスのとれた教育を進めていかななくてはなりません。学校は「人が人間になるために」精進するところなのです。このことはこれまででも、そしてこれからも変わりはありません。新しい教育基本法でも「人格の完成」や「個人の尊厳」

などの普遍的な理念は大切にされています。

学校教育では教師の人間性が、子どもの人格形成に与える影響はとても大きいものです。子供たちを教育していくためには、まず教師自身が人間性を高め、授業力・指導力を向上させなくてはなりません。そして、子どもを学力面、体力(心と体)面で鍛えていかななくてはなりません。さらに教師が現場主義を念頭に置き、常に子どもに寄り添い、子どもの心や姿をとらえながら指導していくことが基本です。それが、教師の使命なのです。先生たちが教育者として使命感に燃え、やりがいと自信をもって教育に専念できるような環境を作っていくかなくてはならないと思っています。

**わたしたち一人一人が考えていかななくてはいけないことはどんなことでしょうか**

まずは、子供たちの心の問題です。岡崎市では「岡崎市『いのちの教育』アクションプラン」が動き始めました。学校だけでなく、

家庭、地域を含めて社会全体で子供たちの成長に関心を持ち、責任を持たなくてはならないのです。中でも、学校は子供たちが大半の時間を過ごす場所です。先生方にかかる責任の大きさはいうまでもありません。道徳の時間はもちろんですが、学校教育活動全体の中で子供たちのやさしい心を育ていく必要があります。

次に、子供たちの学力の問題です。子供たちの学力が二極化している現状は是正する必要があります。先生が教えるべきことを曖昧にしているのではないのでしょうか。小学校でも中学校でも、教えるべきことはきちんと教えなくてはなりません。そして、子供たちに学習したからできるようになったということをしちんと意識させなくてはなりません。国語や算数、数学はもちろん体育や音楽でも同じです。

さらに、これからは、活用型の学力を子供たちにつけることが求められます。知識を教え込むのではなく、子どもに考えさせる授業を心がけていく必要があります。現職研修では、授業研究にもっと力を入れ、授業の中で子供たちがもつと自分の考えを述べ、思考力を伸ばせるように授業展開の工夫をしてほしいと思います。先だって実施された全国学力・学習状況調査のBの問題を参考に考えてみるのもよいと思います。毎日の授業を大切に、子供の学習意欲を高め、わかる授業・楽しい授業・考える授業を工夫してほしいと

思います。そういう努力をしないと学力は向上しません。

#### 岡崎の先生に期待することは何でしょうか

限られた時間の中で先生のやることはたくさんあります。現在も岡崎の先生方はたいへん頑張ってくれます。

これからの教育の状況を考えてとき、子どものために必要なことは何かを考え、現状を見直すことが急務です。つまり、今までと同じことをしてはこれからの要求に答えられません。必要でないことは思い切って削減したり、今あることを子供のためになるように変えたりしていくことが必要です。常に工夫をし、新たな岡崎の教育を創造してほしいと思います。その意味で努力を惜しまない先生であってほしいと思います。先生が子供のために精一杯尽くせば、たとえその結果が悪くても恥じることはありません。思い切りやってほしいと思います。悪戦苦闘や失敗、挫折は自らが高みに上る試練と考え、一歩一歩元気に上を向いて歩んでいきましょう。

#### 座右の銘を教えてください

戦国の武将、武田信玄の言葉に「人は石垣、人は城」という言葉があります。当時の武将は、敵から身を守るために石垣を組み、権力を誇るために幾層に重ねた居城を構えました。し

かし、信玄の居館、躑躅ヶ崎館には石垣も天守閣もありません。石垣はなくても、信玄には、風林火山の旗のもとに騎馬隊と武田二十四将がいました。信玄はこの家臣を信頼し、誇りに思い、大切にしました。信玄の強さはこの家臣にあつたと言われています。信頼できる人ほど大きな財産はありません。岡崎の教育は、施設や設備ではなく、信頼に足る多くの先生方でもっています。先生方が、石垣となり城となつて岡崎の教育を作っていくのです。





● 教育最新情報

○ 専門家による支援「そよかぜ相談室」について

昨年度より、市全体の計画に基づき専門家による巡回訪問を行ってきた。本年度は、「そよかぜ相談室」を予約申し込みの窓口にて、従来の就学に関する相談だけでなく、発達障害のあるケースに対しても、大学関係者に依頼して専門性を生かした助言ができる体制にした。

所属する集団の中で、「どのような支援を進めていくことが重要であるか」、「教師の具体的ななかかわりはどのようにすべきか」といったことに関する相談も対象とし、相談の内容と質を拡大した。

【対象】

原則、岡崎市に在住する小

中学生とその保護者、市内小中学校の教員。また、就学に関する市内年長の保育・幼稚園児とその保護者

【相談の内容】

・従来の就学に関する相談  
・通常学級に在籍する子供に対する特別な配慮・支援に関する相談

【相談の形式】

・来所相談（研究所内「そよかぜ相談室」で相談をする）  
・巡回相談（専門家が学校へ

出向いて、授業観察・ケース会議・保護者相談・職員研修などをする）

【相談手順】

原則、学校・保護者はそれぞれ専門家に相談することを了解し、相談の場合は、本人・保護者・担任の三者を基本とする。

① 電話予約「そよかぜ相談室」

二三一〇四一六へ

② 予約確定の連絡「そよかぜ相談室」から学校へ

③ 日程の連絡調整 学校と専門家

④ 資料の提出 学校から、専門家・「そよかぜ相談室」へ相談依頼書・相談児童生徒個人情報を送付

⑤ 来所相談・巡回相談

⑥ 報告書の提出 一週間後を目安に、学校から、専門家・「そよかぜ相談室」へ

○ 「個別的教育支援計画」導入について

市内全小中学校に「個別的教育支援計画作成Q&A」を配布し、本年度より、計画の本格的導入を図っている。

この計画は、特別な支援を必要とする子供たちに対する関係機関の支援を明確にし、互いに連携を図るための計画である。また、巡回訪問等で

得られた専門家の助言を書き込むことで、学校現場で作成する「個別の指導計画」の基礎となる計画でもある。

保護者と学校で検討を継続評価するためにも重要な計画である。

● 少年自然の家だより

○ 春の植物ウォッチング

四月二十一日(土)に、「体験の森」の千賀敏之先生を講師にお迎えし、四家族十二人が所内の豊かな自然の中を歩き、樹木や植物に親しんだ。植物の名前の由来や食べられる植物の名前など詳しいお話を聞き、実際に「ヒメシヤラ」や「ヒメカンアオイ」、「ギンリョウソウ」など、とても珍しい植物をたくさん見つけることができた。

昼食には、講師さんに持参いただいた「ヤブツバキ」や「タカノツメ」という普段はめったに口にすることのない山菜のてんぷらを味わった。

最後に、創作棟で各自が採集した草花を使ってしおりを作り、この日の記念とした。

○ 「すぶちネーチャークラブ」本年度もスタート

次代を担う青少年の健全育成のための本所主催行事で、子供たちに大好評の「すぶちネーチャークラブ」も本年度で六年目を迎える。初年度はわずか二十人ほどの参加であったが、ここ数年希望者が急増した。本年度も五十人近い応募があり、安全面などを考え抽選で三十人に絞った。

四季折々の所内の自然の中で様々な体験活動を通して、自然に親しむすばらしさを実感することを目的としている。様々な野外活動を楽しみながら、会員相互の親睦(しんぼく)を図ることを念頭におき、宿泊を含め、年七回の活動を計画している。

六月二日(土)に、第一回目を実施し、市内十六校の小学四年生から六年生までの三十人全員が参加した。紹介ゲームに始まり、落ち葉スキーや木製の名札づくりなどを実施した。



●表 彰

◆第六十一回愛鳥週間全国野鳥保護のつどい

環境大臣賞 宮崎小学校

文部科学大臣奨励賞 東海中学校

野生物保護功労者表彰

日本鳥類保護連盟会長賞

夏山小 教諭 萩野真市

◆中日管楽器個人・重奏コンテスト(東海・北陸)

個人の部

サクソフォン

優秀賞 岩津中三年 犬塚清子

ホルン

優秀賞 岩津中三年 谷口裕太

クラリネット

優良賞 竜海中三年 中根綾子

ファゴット

優良賞 竜海中三年 天野温香

重奏の部

フルート三重奏

優秀賞 竜海中学校

優良賞 岩津中学校

サクソフォン四重奏

優秀賞 岩津中学校

金管八重奏

優秀賞 竜海中学校

打楽器六重奏

優秀賞 美川中学校

◆第六回山中湖ダンロップソフトテニス大会

団体 優勝 矢作北中学校

◆第六回兵庫県招待バスケットボール大会

第二位 矢作北中学校

◆第二十三回愛知県中学生体重別柔道大会

女子七〇kg級

第三位 矢作北中三年 山本絢加

女子七〇kg超級

第三位 六ッ美北中 鍋島みゆき

◆第十九回愛知県中学生弓道錬成大会

男子団体 優勝 額田中学校

個人

女子五位 額田中三年 清水彩

男子六位 額田中三年 石原達彦

◆世界空手道選手権大会

優勝 常磐南小五年 柴田苑佳

◆第五十一回岡崎市中学校総合体育大会の記録

●陸上競技(個人・1位のみ)

性	種目	氏名	校名	記録
男	1年100m	中川 裕也	六ッ美	12"5
	100m	伊井 京平	竜南	11"4
	200m	徳田 陽介	竜海	24"2
	400m	神谷 立法	矢作北	56"5
	800m	浜口 修平	葵	新2'03"3
	1年1500m	安藤 涼太	美川	4'47"7
	2年1500m	山本 雅人	六ッ美北	4'31"7
	3000m	渥美 祐次郎	矢作	9'33"1
	110mH	天野 涼太	岡崎南	新15"2
	400mR	尾崎・天野・折田・今西	岡崎南	新46"0
女子	低400mR	松澤・近藤・本達・鴨川	美川	50"4
	走り幅跳び	軒村 一成	竜南	6m10
	走り高跳び	塩瀬 智之	六ッ美北	1m70
	砲丸投げ	山崎 克真	六ッ美	10m22
	棒高跳び	折田 尚也	岡崎南	新3m60
女子	1年100m	伊藤 南	美川	13"8
	100m	久嶋 晃乃巳	竜南	13"1
	200m	笈川 真理子	城北	27"4
	1年800m	伊藤 美咲	甲山	2'35"3
	800m	加藤 彩季	附属	2'21"8
	1500m	畔柳 のぞみ	六ッ美	4'58"2
	100mH	北川 詩織	六ッ美北	15"9
	400mR	木村・久嶋・谷澤・西田	竜南	53"1
	低400mR	福岡・伊賀本・岡本・今村	矢作	55"8
	走り幅跳び	松山 衣里	六ッ美北	4m80
走り高跳び	森 一華	葵	1m40	
砲丸投げ	高橋 奈美	六ッ美	12m27	

●種目別競技

種目	性	優勝	2位	3位
陸上競技	男	南	甲山	美川
	女	竜南	六ッ美北	美川
バスケットボール	男	矢作北	六ッ美北	北
	女	竜海	六ッ美北	北
バレーボール	男	竜海	矢作	竜南
	女	矢作北	福岡	常磐
ソフトテニス	男	六ッ美北	新香山	河合
	女	甲山	北	矢作北
卓球	男	矢作北	南	城北
	女	北	額田	竜海
体操	男	東海	矢作北	竜海
	女	東海	竜海	矢作北
剣道	男	竜海	北	額田
	女	矢作北	竜南	南
ハンドボール	男	美川	葵	六ッ美
	女	美川	竜南	六ッ美北
軟式野球	男	矢作	六ッ美北	六ッ美
	女	北	城北	矢作北
ソフトボール	男	甲山	矢作	矢作北
	女	甲山	六ッ美北	矢作北
柔道	男	甲山	矢作	竜南
	女	甲山	六ッ美北	矢作北
サッカー	男	北	竜南	南
	女	北	竜南	竜海

●個人戦競技(1位のみ)

種目	性	階級・部門	氏名	校名
柔道	男子	軽量級	中村 啓太	六ッ美北
		軽中量級	本田 卓也	矢作北
		中量級	堀江 悟司	矢作北
	女子	重量級	深川 直矢	北
		軽量級	稲垣 妙織	甲山
		軽中量級	加納 菜々子	六ッ美北
体操競技	女子	中量級	石川 夏生	六ッ美北
		個人総合	浅井 怜奈	東海
		床運動	伊東 幸紀	東海
		平均台	浅井 怜奈	東海
		跳び箱	花里 美雪	竜海



▲ 第51回岡崎市中学校総合体育大会開会式

・カ  
ツ  
ト  
梅園小  
杉山有紀

# こども議会 (昭和24年)

写真提供：六ツ美中学校

昭和二十四年五月五日、六ツ美中学校がまだ碧海郡六ツ美村立六ツ美中学校であったところに、生徒たちが村役場で行った「こども議会」の一場面である。記念誌によると、その時の議題は、「村営グラウンドの設置について」だったようだ。村議会さながらの緊張した雰囲気の中、議事が進行していき、傍聴している生徒も、真剣に聞いていることがうかがえる。

その後、六ツ美町が岡崎市に編入し、「こども議会」はなくなるが、その精神は、昭和四十八年より続いている「生徒市議会」に通じている。今と変わらない生徒の熱意が伝わってくる。



## 岡崎の教育



- \* 優劣のかなたに 荻谷 夏子 筑摩書房 ￥1,680
- \* 祖母力 樋口 恵子 新水社 ￥1,575
- \* なぜ勉強させるのか? 諏訪 哲二 光文社新書 ￥756
- \* 亡食の時代 産経新聞「食」取材班 扶桑社新書 ￥735

### \* 格差時代を生きぬく教育 寺脇 研 ユビキタ・スタジオ ￥1,575

格差社会といわれる現代、どういう観点で子供の教育にあたったらよいか。

著者は、格差は昔からあったが、これほど世の中を揺るがすまでに至らなかったと言う。価値観が一元化されてしまったことにより、経済格差が、心まで格差をつけてしまったことを問題視する。

本書には、社会を見直す観点が具体的に示されている。教育改革のうねりに翻弄される昨今、教育に携わる者として、歩みをどう進めたらよいか、その指針を得るためにも一読の価値がある本である。

おりひめ(織姫)が天の川を渡って、ひこぼし(牽牛)と年に一度のデートを楽しむ七夕。ベガとアルタイルという名で、東の空にひとときわ明るく輝いて見える。地上では夏の交通安全市民運動が展開される。忙しい日々だが、星空を楽しむ余裕を持って、一層の安全運転に心がけたい。

シヨウウィンドーに、涼しげな和菓子をよく見かけけるようになった。風鈴の音を聞きながら、団扇を片手にいただくと、風情があつてさらに美味しく感じる。

夏的情绪を楽しみながら、目で賞美し、舌で味わう日本の美意識を再認識してみるのもいい。

# シ オ ス ア

あと一周を告げる鐘が鳴る。走者は呼吸が乱れ、苦しい表情になるが、必死になって先頭集団についていく。厳しい練習に耐えてきたことや互いに励まし合った仲間の精一杯の声援が走者を支えているのだろう。部活動を通して生徒が大きく成長する夏がやってきた。

「すべては子供たちのために」を絶えず念頭に置いて、今日も教壇に立つ。新教育長が就任されてから、三か月。新たな岡崎の教育が始まった。教育改革が話題になる中、不易も大切に作る姿勢や、取り組むべきことなど、示された指針を心に刻み、日々、子供たちのことを思い、精進したい。